

樹林帯で吹雪を防ぐ

吹雪によって運ばれる雪の量はとても多く、短時間で通行が不可能になったり、見通しが悪くなって交通事故の原因になることもあります。その対策として、近年、防雪林の重要性が再認識されています。

針葉樹の模型を使った低温風洞実験から、たとえ1列の林帯でも風を弱めて吹雪を捕捉することがわかりました(図-1)。

また、現地調査から、落葉樹でも風を弱めて吹雪量を減少させる効果があることがわかりました(図-2)。

現在、さらに防雪効果の高い樹林帯を造成するための研究を進めております。

(防災林科)

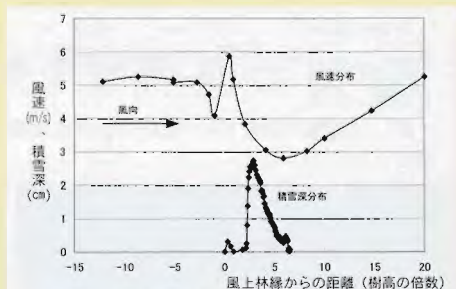


図-1 風速分布と吹きだまり分布(風洞実験)

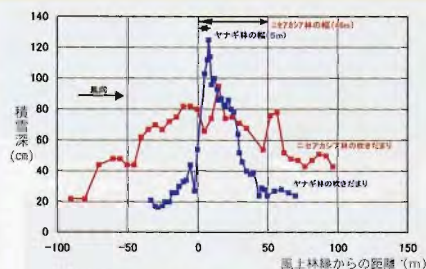


図-2 林帯周辺の吹きだまり分布(現地)

